

カテゴリ	質問	回答
応募にあたって	資格や社会経験がなくても大丈夫ですか。	ご希望の配属先によって、資格が必要な場合がありますので、募集要項をご確認ください。特に記載がなければ、普通自動車免許(AT可)、パソコン操作以外は不要です。社会経験についても問いませんが、ニセコ町をよくするために何がしたいのか、ニセコ町にどのように協力していきたいかなど、明確な意思をもっていることが必須です。「ニセコ町に住みたい、ニセコ町で活動したい」という強い思いで、どんな活動でも前向きに取り組まれる方の応募も大歓迎です。
	パソコンはどれくらい操作できたら良いですか。	週ごと、月ごとの業務報告や自立計画書の作成、自己研鑽に関わる書類の作成などを行いますので、最低でも文書作成ができる必要があります。また表計算ソフトにおいては、備え付け回数利用での計算ができることが望ましいです。配属先によっては、表計算ソフトを大いに活用する場合があります。ご心配な場合は、事前にお問い合わせください。
	パソコン、プリンターは必要ですか。	上記の報告書類の作成ほか、自身の活動のためにPC・ネット環境は必要といえます。また、紙ベースでの提出がほとんどですので小さいもので十分ですがプリンターも用意したほうがいいです。
	配属先によっては英語ができると望ましいとありますが、どれくらいできたら良いですか。	具体的にどれくらい話せたら良いのかにつきましては、お問い合わせください。英語が話せない場合でも他の経験やスキルを活かせる可能性がありますので、お気軽にお問い合わせください。
	勤務時間、土日の出勤について教えてください。	配属先により異なります。勤務時間は、原則週38時間45分です。シフト制の配属先が多く土日出勤の場合もあります。役場であれば平日8時30分から17時15分までです。また、イベント等による土日出勤もあります。
	有給休暇などがありますか。また、出産・育児休暇についてはどうですか。	年次有給休暇、特別休暇(夏季休暇や子どもの看護、親族の葬儀への参加など)があります。このほか無給の特別休暇(出産や介護、負傷疾病によるものなど)もあります。
	任期は何年ですか。	任期は年度単位とし、最長3年間となります。
	必ず起業しなければいけないのですか。	既存の事業の継承や、地元企業等への就職も可能です。
協力隊について	応募前に相談したい場合はどうしたら良いですか。	各種フェアに参加していただければ、役場担当職員や現役隊員、移住相談員がご相談にのります。参加が難しい場合は、ニセコ町役場企画環境課自治創生係(TEL:0136-44-2121、MAIL:jichi@town.niseko.lg.jp)にお問い合わせください。移住相談員は、オンラインでの相談対応も行っていきます。詳しくは移住ポータルサイト(https://niseko-iju.com)をご覧ください。また、ニセコ町中央倉庫群は、地域おこし協力隊卒業隊員、現役隊員が管理・運営を行っています。隊員に相談したい場合は、こちらにご連絡または、直接お越しください。(TEL:0136-55-5538) 国が設置している相談窓口として総務省地域おこし協力隊サポートデスク(TEL:03-6225-2318)もご利用いただけます。
	現隊員は何名いますか。	現在23名で活動しています。20代～50代と年齢層は幅広く、男女半数となっています。
	現隊員はどこから来ていますか。	道内、関東、関西など全国、様々なところから来ています。
	具体的な活動を教えてください。	主に3つの活動をしていただきます。 ① 配属先での活動 ② 地域おこし協力隊としての活動 ・週1回のミーティングへの参加 ・協力隊ラジオ番組への出演 ・地域のイベントへの協力 ・地域活性化のためのイベントなどの企画と運営 など多岐にわたります。 ③ 自立のための活動 ・資格の取得 ・研修会への参加 ・起業に向けた取り組みなど、ご自身の卒業後に向けて計画的に活動していただきます。 なお、上限はありますが、自立のための自己研鑽費の補助を受けることができます。また、配属先や協力隊卒業隊員と自立についての面談を行っています。
	地域おこし協力隊の活動は多忙ですか。	配属先での活動、地域おこし協力隊としての活動のどちらも繁忙期があります。野菜を植える時期、収穫時期、観光シーズンなどは、忙しくなります。繁忙期が過ぎれば、各隊員それぞれが趣味を楽しんでいます。スキーやスノーボードなどウィンタースポーツが人気です。
	現隊員の配属先を教えてください。	ニセコ町役場(企画環境課、建設課、農政課、ニセコこども館、幼児センター)、ニセコ中央倉庫群、株式会社高橋牧場、株式会社キラットニセコ(駅前温泉綺羅乃湯)、ニセコリゾート観光協会(ニセコ駅、道の駅)、ニセコビュープラザ直売会協同組合、株式会社ニセコバスなどです。
	配属先の活動以外に兼業はできますか。	将来の自立、定住に向けた兼業は可能です。個々の状況により、兼業には様々な条件があります。
	任期途中で地域おこし協力隊を辞める方はいますか。	残念ながらいらっしゃいます。原因としては、自己都合のほか、配属先と本人の齟齬、ニセコ町地域おこし協力隊という制度の捉え方によるものだと考えられます。そのような状況にならないために、事前の面談・相談などが行えるほか、配属先の変更などを行う場合もあります。
生活について	健康診断は受けられますか。	毎年役場から案内があり、無料で受けることができます。ストレスチェックも行っています。
	採用された場合、住宅の斡旋はありますか。	役場から家族構成やベットの有無に合わせて物件や不動産会社の斡旋・紹介があります。ご自身で探すことも可能ですが、ニセコ町は町営住宅も含めて慢性的な住宅不足となっております。特に世帯向けは物件確保が難しい状況が続いています。
	どのような車を選ぶべきですか。	豪雪地帯のため、四駆が望ましいです。冬道は滑りやすく除雪の状態によっては、車が埋まることもあります。冬は、車にスコップやけん引ロープを積んでおくことをおすすめします。軽自動車でも問題ありません。町内のガソリンスタンドは19時に閉店します。倶知安町のガソリンスタンドは23時まで営業しています。天候によっては、給油や灯油の購入が困難になることもあります。冬場は特に余裕をもってガソリンスタンドに行きましょう。
	パソコンや印刷機は必要ですか。	書類の作成を行いますので、パソコンは必要です。Microsoft Officeが搭載されている方が使い勝手が良いです。印刷機は家庭用の小さなもので十分ですので各自でご用意ください。
	冬の生活は大変ですか。	雪かきはアパートが契約した除雪業者が重機で行いますので、そこまで必要ありません。パウダースノーのため雪も軽く掻きやすいです。アパートに住む場合は、大変な部分は少ないと考えられます。ストーブについては、お住いのアパートによって使用できないタイプもありますので、ご注意ください。冬の運転は滑りやすいので、運転が苦手な方は夏のうちに練習しましょう。また、物件によりですが、冬季に暖房代や除雪代が必要となります。
	休みの日はどのように過ごしていますか。	夏はドライブやツーリング、登山、海へも車で1時間ほどです。冬はスキーやスノーボードを楽しむ人が多いです。また、温泉もたくさんあります。札幌や函館、新千歳空港へ車で2～3時間で行けるので、旅行にも行きやすいです。カフェなどの飲食店も多く、食べ歩きもできます。
	月額16万円(額面)の給料でも生活できますか。	単身の場合、都市部と比べて支出が少ないので贅沢はできませんが、生活はできます。また、家賃や活動支援の補助もあります。年間で最大2.6月分のボーナスも支給されます。世帯の場合、扶養する家族の状況にもありますが、他に収入がないとそれまでの生活レベルの維持はなかなか難しいので、準備・対応が必要です。
	買い物や病院はどこにいていますか。	道の駅で新鮮な野菜を購入したり、コンビニやドラッグストア、農協、商店などで生活必需品を購入しています。みな、地元消費を心がけています。また、隣の倶知安町にはスーパーやホームセンターがあります。ニセコ町内や倶知安町に病院はありますが、特定の曜日にしか受診できない科もあります。小樽市や札幌市に行く必要がある場合もあります。
卒業後について	電波環境は良好でしょうか。	モバイルWifiなどは都市部と同様には使用できないものもありますが、全く電波が通じないという状況ではありません。また、居住する場所によっても状況は異なります。
	保育施設に空きはありますか。	乳幼児の受け入れ先は、幼児センターが主になります。その年、子どもの月齢によって大きく状況は変化しますが、受け入れができません。待機となる場合もあります。状況について、事前に相談されるのが良いです。幼児センター(TEL:0136-44-2700)
	就職先の斡旋はありますか。	任期中に、定住や定着に向けて自主的に活動を行うこと、地域に根付き自身でネットワークを広げていくことが原則です。配属先や卒業隊員等と相談しながら、定住に向けて計画的に活動していきましょう。
卒業後について	自立支援の為に相談できる場所はありますか。	ニセコ町商工会、北海道よろず支援拠点(中小企業庁)などがあります。入隊後に紹介可能です。
	任期を満了した方は、どのような仕事をしていますか。	卒業隊員21名のうち15名がニセコ町に定住しました。起業された方はそれぞれ、飲食店、食品加工、林業、画家、物件管理、ヨガインストラクター、日本語教師、事務代行などを行っています。また、地元企業に就職された方もいます。その他の方々も協力隊の経験を活かし、道内、他地域でご活躍されています。